名前（　　）　日付　　月　　日

公民 環境問題 持続可能な社会

問 1　公害と日本の環境対策

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　事業活動などの汚染や騒音による、健康や生活環境への被害は何か。	
(2)　工場の煙や自動車の排気ガスなどで、空気が汚れることを何というか。	
(3)　工場や家庭の排水などで、川や海などの水が汚れることを何というか。	
(4)　かつて公害対策の基本を定めるため、1967 年に制定された法律は何か。	
(5)　1993 年に制定された、日本の環境保全の基本を定める法律は何か。	
(6)　2001 年に発足し、日本の環境行政を担っている省は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

工場の生産を続けながら、公害による被害を防ぐために、どのような対策が必要か。企業の取り組みと、国や自治体の役割を一つずつ挙げて説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 環境問題 持続可能な社会

問 2　地球規模の環境問題

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　温室効果ガスが増え、地球の平均気温が長期的に上がる現象は何か。	
(2)　二酸化炭素やメタンなど、地表の熱を吸収する気体の総称は何か。	
(3)　硫黄酸化物などが原因で、通常より酸性が強くなった雨を何というか。	
(4)　干ばつや過放牧などで、乾燥した地域の土地が劣化する現象は何か。	
(5)　有害な紫外線を吸収して生物を守る、大気中の層を何というか。	
(6)　生態系・生物の種類・遺伝子の多様さをまとめて何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

地球温暖化や酸性雨などの環境問題を解決するために、国際協力が必要なのはなぜか。汚染物質や影響の広がりに着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 環境問題 持続可能な社会

問 3　資源循環と 3R

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　資源をくり返し使い、ごみや環境への負担を減らす社会は何か。	
(2)　発生抑制・再使用・再生利用という三つの取り組みの総称は何か。	
(3)　不要な物を買わないなど、ごみの発生自体を抑える取り組みは何か。	
(4)　使える物を人にゆずるなど、そのまま再使用する取り組みは何か。	
(5)　古紙から再生紙を作るなど、資源として再生利用する取り組みは何か。	
(6)　まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

使わなくなった子ども服を、必要な人にゆずる活動は 3R のどれに当たるか。リサイクルとの違いが分かるように、理由も説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 環境問題 持続可能な社会

問 4　エネルギーと脱炭素

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　石油・石炭・天然ガスなど、昔の生物をもとにできた燃料は何か。	
(2)　太陽光や風力など、自然の力をくり返し利用できるエネルギーは何か。	
(3)　無駄をなくすなどして、使うエネルギーを減らす取り組みは何か。	
(4)　二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を、実質ゼロにした社会は何か。	
(5)　温室効果ガスの排出量から吸収量を引き、実質ゼロにすることは何か。	
(6)　企業などの排出枠を売買して、全体の排出を抑える制度は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

ある工場の 1 年間の二酸化炭素排出量が、1,000t から 800t に減った。元の 1,000t に対する削減率を求め、計算の考え方も説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 環境問題 持続可能な社会

問 5　国際協力と将来世代

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　1992 年にリオデジャネイロで開かれた国連環境開発会議の通称は何か。	
(2)　先進国の温室効果ガス削減義務を定めた、1997 年採択の議定書は何か。	
(3)　2015 年採択の、先進国と途上国の温暖化対策を定めた協定は何か。	
(4)　将来の世代の暮らしを損なわず、今の世代の必要も満たす開発は何か。	
(5)　国連で採択された「持続可能な開発目標」の略称は何か。	
(6)　SDGs 全体が目指す達成期限は、西暦何年か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

森林の利用について、今の生活と将来の世代の両方を考えた取り組みを一つ提案し、その理由を説明しなさい。

公民 環境問題 持続可能な社会の解答

記述は解答例です。同じ内容が表されていれば、表現が異なっても正解とします。

問 1　公害と日本の環境対策

(1) 公害　(2) 大気汚染　(3) 水質汚濁
(4) 公害対策基本法　(5) 環境基本法　(6) 環境省

記述例　企業は排水を浄化する設備などを導入し、国や自治体は排出基準を定めて監視する。

採点のポイント　企業の汚染防止策と、国や自治体による規制や監視をそれぞれ挙げている。

補足　公害対策基本法は歴史的な法律。環境庁は 1971 年に発足し、2001 年に環境省となった。

問 2　地球規模の環境問題

(1) 地球温暖化　(2) 温室効果ガス　(3) 酸性雨
(4) 砂漠化　(5) オゾン層　(6) 生物多様性

記述例　汚染物質が国境を越えて広がったり、影響が多くの国に及んだりするため、関係する国々が協力して原因を減らす必要がある。

採点のポイント　汚染物質や影響が国境を越えることと、多くの国が協力する必要性を結び付けている。

補足　オゾン層破壊の主な原因はフロン類。温暖化とは異なる問題だが、フロン類にも温室効果がある。

問 3　資源循環と 3R

(1) 循環型社会　(2) 3R　(3) リデュース
(4) リユース　(5) リサイクル　(6) 食品ロス

記述例　リユース。服を材料に戻して作り直すのではなく、そのままの形でくり返し使うため。

採点のポイント　リユースと答え、材料などとしての再生利用と、そのままの再使用を区別している。

補足　3R は原則としてリデュース、リユース、リサイクルの順に優先する。

問 4　エネルギーと脱炭素

(1) 化石燃料　(2) 再生可能エネルギー　(3) 省エネルギー
(4) 脱炭素社会　(5) カーボンニュートラル　(6) 排出量取引

記述例　削減率は 20%。減った量の 200t を、基準の 1,000t で割り、100 をかける。

採点のポイント　減少量 200t を、基準の 1,000t に対する割合で計算し、20%と求めている。

補足　省エネルギーは省エネ、排出量取引は排出権取引でも可。再生可能エネルギーには水力や地熱も含む。

問 5　国際協力と将来世代

(1) 地球サミット　(2) 京都議定書　(3) パリ協定
(4) 持続可能な開発　(5) SDGs　(6) 2030 年

記述例　伐採量を森林が再生できる範囲に抑え、植林や管理を続ける。将来の世代も木材などの資源を利用できるようにするため。

採点のポイント　森林の再生を考えた利用方法と、将来の世代も利用できるようにする理由を示している。

補足　京都議定書は先進国に削減義務を定めた。パリ協定は途上国も対象とする。SDGs は 17 の目標。